

# 兵庫県立芦屋国際中等教育学校

## ミッション概要

### 目次

ミッションの紹介-----P2

缶サットの構造-----P3

## 気圧計算式

海拔2000m以内では10m  
上昇するごとに気圧が

111Pa減少することから

1mごとの減少量は11.1Pa  
すなわち0.111Pqである

高度  $h(m)$ ,

基準面気圧  $p(hPa)$ ,

最低気圧  $q(hPa)$ の関係は

$$h = (p - q) / 0.111$$

## メインミッション

缶サットに気圧センサーを積み、発射前の気圧と最低気圧から缶サットの到達高度を推測する

そして、市販の高度計でその結果を確かめる

普段の部活を通して、**水口ケット**や**モデルロケット**を製作しています  
製作したロケットを発射させた際の**最高到達点**について調べることができます

## サブミッション

ロケットのリカバリーシステムの成功放出と安全にリカバーする

ロケット本体と中に搭載している機器等にできるだけダメージを与えることなく接地面に着地させることを目標にしています。

ごく基本的な事ですが、安全な活動を確保するための大切なことです。  
もちろんこれも**水口ケット**や**モデルロケット**に応用できます。

# 缶サットの構造

